

平成16年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 ニギス

学名 *Glossanodon semifasciatus*

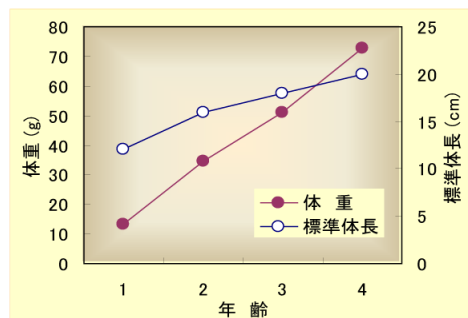
系群名 日本海系群

担当水研 日本海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 5歳
成熟開始年齢: 1.5歳
産卵期・産卵場: 周年産卵するが、産卵のピークは春季と秋季、産卵場は不明
索餌期・索餌場: 周年、水深100～200mで索餌
食性: オキアミなどの浮遊性小型甲殻類
捕食者: 不明

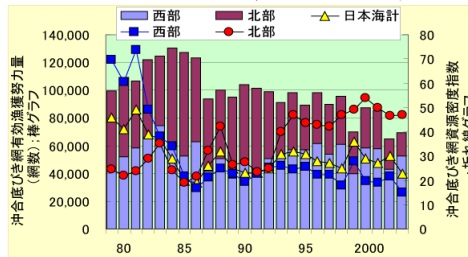
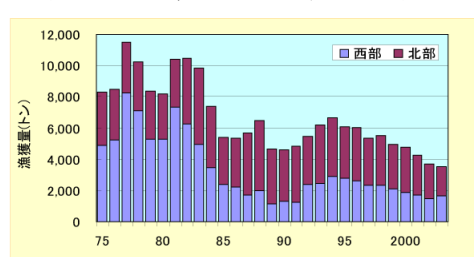


漁業の特徴

本種の主な漁場は青森県～島根県の日本海沿岸と、愛知県および高知県沿岸の太平洋岸であるが、日本の漁獲量の7～8割が日本海沿岸で水揚げされている。本州沖合の日本海において、本種は水深100～200mに分布しており、主として沖合底びき網、小型底びき網で漁獲されている。

漁獲の動向

漁獲量の推移をみると、1975年以降では1977年の11,463トンピークに、1983年までは8,000～12,000トンで変動していた。しかし、1984年以降減少し、1989～1991年には5,000トン以下にまで落ち込んだ。1992年以降はやや増加し、1994年には6,600トンまでに増加したが、その後減少傾向が見られ、2003年は3,500トンであった。



資源評価法

沖合底びき網漁業漁獲成績報告書に基づき、日本海北部(石川県加賀沖以北)と日本海西部(福井県若狭沖以西)および日本海全体の沖合底びき網の資源密度指数の推移(1979～2003年)を基に資源評価を行った。

資源状態

日本海西部における2003年の沖合底びき網(1そうびき)の資源密度指数は過去最低となった。日本海北部における資源密度指数は依然として高い値を示していた。日本海全体の資源密度指数は過去3番目に低い値となった。そこで資源水準は低位とし、中位から低位へ移行したことにより動向は減少傾向とした。

管理方策

日本海全体の沖合底びき網の資源密度指数は減少し、資源水準・動向は低位・減少傾向となった。しかし、資源密度指数の低下は過去に見られた変動の範囲内にあること、漁獲量の半分を占める北部の資源密度指数は良好な値を示していること、近年の漁獲努力量は低い水準にあることから、漁獲圧は現状を維持しても良いと判断した。そこで、2003年の漁獲量をABClimitとし、ABClimitの8割をABCtargetとした。



	2005年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	3,500トン	C2003	-	-
ABCtarget	2,800トン	0.8ABClimit	-	-

資源評価のまとめ

- 沖合底びき網(1そうびき)の資源密度指数は過去3番目に低い値となった
- 資源水準は低位で、動向は減少傾向である
- 漁獲圧は高くない
- 漁獲量の半分を占める北部の資源状態は良い

管理方策のまとめ

- 漁獲圧は現状維持とする
- 投棄魚を減らすことも重要

資源評価は毎年更新されます。
2005.6.3 更新